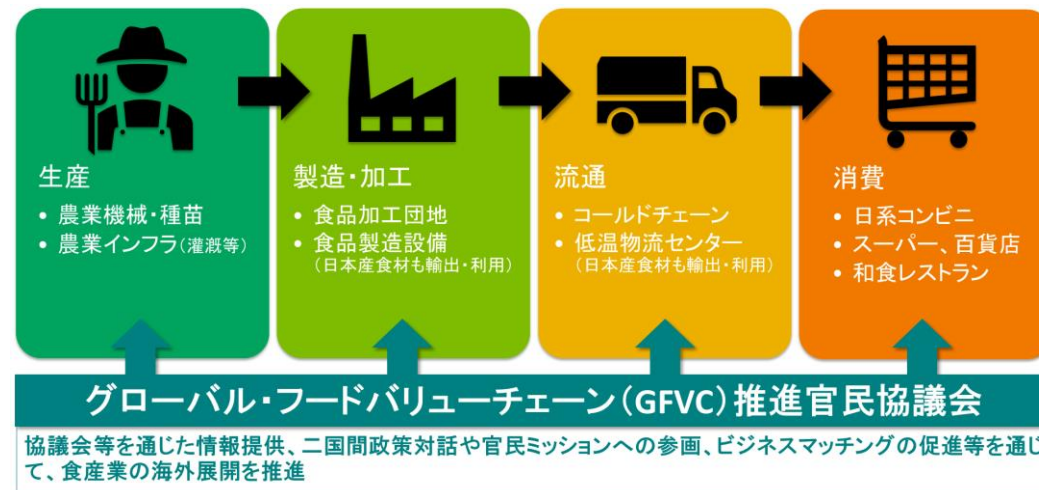


## グローバル・フードバリューチェーン(GFVC)推進官民協議会について

GFVC推進官民協議会 2014年6月、産学官が連携し、フードバリューチェーンの構築\*を通じた日本の食産業の海外展開を推進するため発足された協議会。



### ※フードバリューチェーンの構築

農林水産物の生産から製造・加工、流通、消費に至る各段階の付加価値をつなぐことで、食を基軸とする付加価値の連鎖をつくり、フードバリューチェーン全体を構成する生産者、製造業者、流通業者、消費者により大きな付加価値をもたらすこと。

メンバー企業・団体数 706社・団体 (2021年11月1日現在)

農林水産省などの関係府省、地方自治体、民間企業、学識経験者、関係機関

代表 早稲田大学政治経済学術院 深川由起子 教授

### 活動実績

○2014年6月 「GFVC戦略」の策定

- 《目的》
- 我が国食産業の海外展開と成長の推進
  - 民間投資と経済協力との連携による途上国の経済成長の推進
  - 食のインフラ輸出と日本食品の輸出環境の整備の推進

《成果》 2017年度の食関連産業の海外売上高 5兆9,000億円(目標値 2020年度 5兆円を前倒達成)

○2019年2月 「GFVC構築推進プラン」の策定

《目的》 「GFVC戦略」の成果を踏まえ、我が国の食産業の海外展開を一層加速化させるため

## GFVC令和3年度第1回全体会合(2021年11月5日開催)

### 鮮度保持技術を活用した輸出に関する海外展開の取組の報告

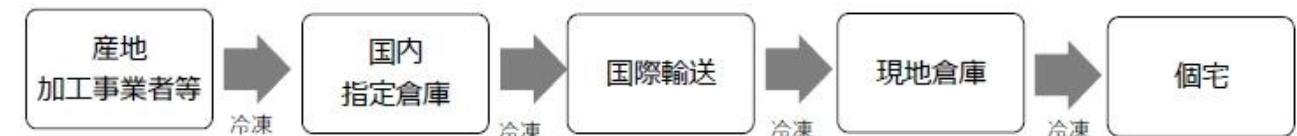
農林水産省の2020年度第3次補正予算事業「海外フードバリューチェーン再構築緊急対策事業」を使って鮮度保持技術を活用した輸出に取り組んでいる事業者による中間報告

### ■日本食冷凍食品海外販売プロジェクト (代表団体：株式会社JTB)

《取組》 国産果物(ぶどう・桃・いちご・柑橘等)、日本産米、水産(ぶり・鯛・ほたて等)を原料にした冷凍食品をシンガポールへ輸出するため、商品・技術のPRや現地企業とのマッチング等

《課題》

- シンガポールでは冷凍配送がまだ確立されておらず、発砲スチロールにドライアイスや、保冷剤を入れて配送する方法が主流
- 輸出先現地における冷凍・冷蔵輸送可能な輸送車両不足



### ■地域食品輸出プロジェクトチーム (代表団体：株式会社テロワール・アンド・トラディション・ジャパン)

《取組》 直行便による野菜、和牛、日配品等を個人宅に配送するビジネスモデルの構築

《課題》 仕分け場所と適切な保管場所及び日本式冷蔵車と輸送(配達)の欠如

### ■日本酒コールドチェーンコンソーシアム (代表団体：合同会社オープンゲート)

《取組》 冷凍・冷蔵食品の越境通販サプライチェーンの構築に向けた、中国での日本酒のコールドチェーン物流のテスト、展示会での商品プロモーション等

《今後の取組》 データロガー(記録計)を利用した商品の温度管理や流通経路の追跡データ分析による冷蔵物流の品質担保及び商品のテスト販売



総括 ⇒ ポスト・コロナ期の価値転換とグローバリズムが必要

### ○切迫する環境対応

持続可能な農業環境、循環社会の中の食、包括的な環境負荷軽減

⇒ 「大量生産・大量輸送・大量消費」から「適量生産・効率物流・適時適性消費」へ

### ○グローバルバリューチェーン(GVC)\*の転換

「効率」対「安定供給」から「効率」+「柔軟供給」へ

⇒ 「生産性+貿易+備蓄」から「生産性+情報共有」へ

### ○5G下の情報共有

変わる生産者～物流・流通業者～消費者の伝統構造変化 (E-Commerce、SNS、動画情報)

⇒ 「モノを売る」から「文化や生活スタイルを売る」へ

※グローバルバリューチェーン(GVC)

企業が生産工程の最適化を図るために、複数国にまたがって財やサービスの供給・調達を行うこと。